指定整備記録簿
（分解整備記録簿）

点検良好	レ	交換	×	省略	P
分解	○	修理	△	先送り	N
調整	A	清掃	C	該当無し	／
締付	T	給油(水)	L		

使用者(依頼者）の氏名または名称および住所
✔
株式会社 記録簿乳業
✔
整備県整備市整備4丁目5-6

自動車登録番号又は車両番号 ✔
記録簿　800　え　1655

車台番号 ✔
国［01］11539国

点検の結果及び整備の概要

● ブレーキ装置

レ	ブレーキの効き具合
レ	パーキング･ブレーキ･レバーの引きしろ
レ	パーキング･ブレーキの効き具合
レ	ブレーキ･ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態
Ⓐ	ブレーキ･チャンバのロッドのストローク Ⓐ
Ⓧ	ブレーキ･チャンバの機能 Ⓧ
レ	リレー･エマージェンシ･バルブの機能
Ⓒ	ブレーキ･カムの磨耗 Ⓒ
Ⓐ	ブレーキ･ドラムとライニングとの隙間
Ⓧ	①ブレーキ･シューの摺動部分、ライニングの磨耗 Ⓧ
Ⓒ	ブレーキ･ドラムの磨耗、損傷 Ⓒ
Ⓒ	ブレーキのバック･プレートの状態 Ⓒ
／	①ブレーキ･ディスクとパッドとの隙間
／	①ブレーキ･パッドの磨耗
／	ブレーキ･ディスクの磨耗、損傷

● 走行装置

A	①タイヤの空気圧 A
レ	①タイヤの状態亀裂、損傷
レ	①タイヤの溝の深さ、異常磨耗
レ	スペア･タイヤの空気圧
T	ホイール･ナット、ホイール･ボルトの緩み T
レ	②ホイール･ナット、ホイール･ボルトの損傷
レ	リム、サイド･リング、ホイール･ディスクの損傷
Ⓐ	ホイール･ベアリングのがた Ⓐ

● サスペンション

レ	リーフ･スプリングの損傷
レ	リーフ･スプリング、スプリング･ブラケットの取付部の緩み、損傷
レ	リーフ･スプリング、トルク･ロッドの連結部のがた
／	エア･サスペンションのエア漏れ
／	①エア･サスペンションのベローズの損傷
／	①エア･サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
／	エア･サスペンションのレベリング･バルブの機能
／	ショック･アブソーバの損傷、オイルの漏れ

● 電気装置

T	電気配線の接続部の緩み T 損傷

● 付属装置等

C	エア･タンクの凝水 C
レ	フレーム、ボデーの緩み、損傷
／	連結装置のカプラの機能、損傷
レ	連結装置のキング･ピンの磨耗、亀裂、損傷
／	連結装置のルネット･アイの磨耗、亀裂、損傷
L	シャシ各部の給油脂状態 L

保安基準に関するその他の主な点検整備項目及び依頼事項

（▲印は特殊な使用状況並びに特殊な構造装置による点検項目を示す）

交換部品	数量
シャシグリス	2ℓ
エアークリーナエレメント	1個
ブレーキチャンバダイアフラム	4個
ブレーキライニングキット	2個

メンテナンスに関するアドバイス

50km～100km走行後ホイールナットの増締めをしてください。

被牽引自動車：別表4

注　点検整備記録簿は一年間、分解整備記録簿は二年間携行保存することになっておりますが、生涯記録簿として長期間保存ください。なお、整備工場は指定整備記録簿として二年間保存。

注　①印は3ヶ月間あたり 2,000km以下の走行距離によって省略可能
②印は車両総重量８トン以上が対象

●タイヤの溝の深さ (1.6mm 以上)

前輪	左前	mm	右前	mm
	左後	mm	右後	mm
後輪	左前	11 mm	右前	11 mm
	左後	7 mm	右後	7 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

前輪	左前	mm	右前	mm
	左後	mm	右後	mm
後輪	左前	12 mm	右前	12 mm
	左後	11 mm	右後	11 mm

自動車分解整備事業者の氏名又は名称・所在地・認証番号・指定番号
記録簿 DIRECTOR 整備記録簿作成発行アプリケーションソフト PRISMASERVICE

点検の年月日	整備主任者の氏名
平成28年5月20日	整備主任者1
整備完了年月日	点検(整備)時の総走行距離
平成28年5月20日	km

検査機器等による検査

前軸	前軸	右	N	軸重 ✔	kg	左右差	N	N/kg	
		左	N						
	後軸	右	N	軸重 ✔	kg	左右差	N	N/kg	
		左	N						
後軸	前軸	右	9550 N	軸重 ✔	2410 kg	左右差	550 N		
		左	9000 N		7.69 N/kg		0.23 N/kg		
	後軸	右	8000 N	軸重 ✔	2410 kg	左右差	150 N		
		左	8150 N		6.70 N/kg		0.07 N/kg		
計			34700 N	車両重量	6705 kg		5.17 N/kg		
手動			28700 N				4.28 N/kg		

走行テスト等の方法と結果：分離ブレーキ適合

前照灯	右	左	前部霧灯	警音器
取付高さ	cm	cm	×100 cd	デシベル
光軸（又はルボー度測定点）	cm	cm	速度計の誤差 km/h	定常走行騒音 デシベル
	cm	cm	指示針の振れ km/h	排気騒音 デシベル
	cm	cm	速度表示灯の誤差 km/h	C　O %
光度	主×100 cd	主×100 cd	タイヤの振れ 良	H　C ppm
	副×100 cd	副×100 cd	サイド・スリップ mm	黒煙・粒子状物質 %

目視等による検査

構造	①	最低地上高	レ
	②	最大安定傾斜角度	レ
	③	最小回転半径	レ
装置	①	原動機及び動力伝達装置	／
	②	走行装置	レ
	③	操縦装置	／
	④	制動装置	レ
	⑤	緩衝装置	レ
	⑥	燃料装置及び電気装置	レ
	⑦	車枠及び車体	レ
	⑧	連結装置	レ
	⑨	乗車装置及び物品積載装置	レ
	⑩	前面ガラスその他の窓ガラス	／
	⑪	騒音防止装置	／
	⑫	ばい煙等の発散防止装置	／
	⑬	灯火装置及び反射器	レ
	⑭	警報装置	／
	⑮	指示装置	レ
	⑯	視野を確保する装置	／
	⑰	走行距離計その他の計器	／
	⑱	防火装置	／
	⑲	内圧容器及びその付属装置	／
	⑳	その他（運行記録計・速度表示装置等）	／

自動車検査証、登録識別情報等通知書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

✔ 自動車の種別	✔ 用途	✔ 自家用・事業用の別	✔ 車体の形状	✔ 車名	✔ 型式	✔ 乗車定員	✔ 最大積載量	その他
普通	特種	事業用	タンクセミトレーラ	フルハーフ	FPA230A改	（－）－人	（－）15300 kg	
✔ 車両重量	✔ 車両総重量	✔ 原動機の型式	✔ 長さ	✔ 幅	✔ 高さ	✔ 総排気量又は定格出力	✔ 燃料の種類	
6650 kg	（－）21950 kg	－	852 cm	249 cm	337 cm	－ kW ℓ	－	

依頼者の氏名等

受付年月日	平成28年5月20日
依頼者の氏名又は名称及び住所	株式会社 記録簿乳業 整備県整備市整備4丁目5-6
（備　考）✔	

（依頼者の依頼事項）

点検者の氏名	作業者の氏名	
検査員1	整備作業者1	整備作業者2

初度登録年月又は初度検査年月 ✔	平成2年8月
検査の年月日	平成28年5月20日
自動車検査員の氏名	自動車検査員1
保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	441
保安基準適合標章交付	有
限定保安基準適合証の番号	

指定整備記録簿
（分解整備記録簿）

点検良好	レ	交換	×	省略	P
分解	○	修理	△	先送り	N
調整	A	清掃	C	該当無し	／
締付	T	給油(水)	L		

使用者(依頼者）の氏名または名称および住所
✔ 株式会社 記録簿乳業
✔ 整備県整備市整備4丁目5-6

自動車登録番号又は車両番号 ✔
記録簿　800　え　1655

車台番号 ✔
国［01］11539国

点検の結果及び整備の概要

● ブレーキ装置

レ	ブレーキの効き具合
レ	パーキング･ブレーキ･レバーの引きしろ
レ	パーキング･ブレーキの効き具合
レ	ブレーキ･ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態
Ⓐ	ブレーキ･チャンバのロッドのストローク
Ⓧ	ブレーキ･チャンバの機能
レ	リレー･エマージェンシ･バルブの機能
Ⓒ	ブレーキ･カムの磨耗
Ⓐ	ブレーキ･ドラムとライニングとの隙間
Ⓧ	①ブレーキ･シューの摺動部分、ライニングの磨耗
Ⓒ	ブレーキ･ドラムの磨耗、損傷
Ⓒ	ブレーキのバック･プレートの状態
／	①ブレーキ･ディスクとパッドとの隙間
／	①ブレーキ･パッドの磨耗
／	ブレーキ･ディスクの磨耗、損傷

● 走行装置

A	①タイヤの空気圧
レ	①タイヤの状態亀裂、損傷
レ	①タイヤの溝の深さ、異常磨耗
レ	スペア･タイヤの空気圧
T	ホイール･ナット、ホイール･ボルトの緩み
レ	②ホイール･ナット、ホイール･ボルトの損傷
レ	リム、サイド･リング、ホイール･ディスクの損傷
Ⓐ	ホイール･ベアリングのがた

● サスペンション

レ	リーフ･スプリングの損傷
レ	リーフ･スプリング、スプリング･ブラケットの取付部の緩み、損傷
レ	リーフ･スプリング、トルク･ロッドの連結部のがた
／	エア･サスペンションのエア漏れ
／	①エア･サスペンションのベローズの損傷
／	①エア･サスペンションの取付部、連結部の緩み、損傷
／	エア･サスペンションのレベリング･バルブの機能
／	ショック･アブソーバの損傷、オイルの漏れ

● 電気装置

T	電気配線の接続部の緩み、損傷

● 付属装置等

C	エア･タンクの凝水
レ	フレーム、ボデーの緩み、損傷
／	連結装置のカプラの機能、損傷
レ	連結装置のキング･ピンの磨耗、亀裂、損傷
／	連結装置のルネット･アイの磨耗、亀裂、損傷
L	シャシ各部の給油脂状態

保安基準に関するその他の主な点検整備項目及び依頼事項

（▲印は特殊な使用状況並びに特殊な構造装置による点検項目を示す）

交換部品	数量
シャシグリス	2ℓ
エアークリーナエレメント	1個
ブレーキチャンバダイアフラム	4個
ブレーキライニングキット	2個

メンテナンスに関するアドバイス
50km～100km走行後ホイールナットの増締めをしてください。

被牽引自動車：別表4

注 点検整備記録簿は一年間、分解整備記録簿は二年間携行保存することになっておりますが、生涯記録簿として長期間保存ください。なお、整備工場は指定整備記録簿として二年間保存。

注 ①印は3ヶ月間あたり 2,000km以下の走行距離によって省略可能
②印は車両総重量８トン以上が対象

●タイヤの溝の深さ (1.6mm 以上)

前輪	左前	mm	右前	mm
	左後	mm	右後	mm
後輪	左前	11 mm	右前	11 mm
	左後	7 mm	右後	7 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ

前輪	左前	mm	右前	mm
	左後	mm	右後	mm
後輪	左前	12 mm	右前	12 mm
	左後	11 mm	右後	11 mm

自動車分解整備事業者の氏名又は名称・所在地・認証番号・指定番号
記録簿 DIRECTOR 整備記録簿作成発行アプリケーションソフト PRISMASERVICE

点検の年月日	整備主任者の氏名
平成28年5月20日	整備主任者1
整備完了年月日	点検(整備)時の総走行距離
平成28年5月20日	km

検査機器等による検査

前軸	前軸	前	右 N	軸重 ✔ kg	左右差 N	取付高さ	右 cm	左 cm	×100 cd
			左 N		N/kg				
		後	右 N	軸重 ✔ kg	左右差 N	光軸（又はルボー光度測定点）	cm	cm	速度計の誤差 km/h
			左 N		N/kg				
	後軸	前	右 9550 N	軸重 ✔ 2410 kg	左右差 550 N		cm	cm	指示針の振れ km/h
			左 9000 N	7.69 N/kg	0.23 N/kg				
		後	右 8000 N	軸重 ✔ 2410 kg	左右差 150 N		cm	cm	速度表示灯の誤差 km/h
			左 8150 N	6.70 N/kg	0.07 N/kg				
計			34700 N	車両重量 6705 kg	5.17 N/kg	光度	主×100 cd	主×100 cd	タイヤの振れ 良
手動			28700 N		4.28 N/kg		副×100 cd	副×100 cd	サイド・スリップ mm

警音器	
	デシベル
定常走行騒音	
	デシベル
排気騒音	
	デシベル
C O	
	%
H C	
	ppm
黒煙・粒子状物質	
	%

走行テスト等の方法と結果：分離ブレーキ適合

目視等による検査

構造	①	最低地上高	レ
	②	最大安定傾斜角度	レ
	③	最小回転半径	レ
装置	①	原動機及び動力伝達装置	／
	②	走行装置	レ
	③	操縦装置	／
	④	制動装置	レ
	⑤	緩衝装置	レ
	⑥	燃料装置及び電気装置	レ
	⑦	車枠及び車体	レ
	⑧	連結装置	レ
	⑨	乗車装置及び物品積載装置	レ
	⑩	前面ガラスその他の窓ガラス	／
	⑪	騒音防止装置	／
	⑫	ばい煙等の発散防止装置	／
	⑬	灯火装置及び反射器	レ
	⑭	警報装置	／
	⑮	指示装置	レ
	⑯	視野を確保する装置	／
	⑰	走行距離計その他の計器	／
	⑱	防火装置	／
	⑲	内圧容器及びその付属装置	／
	⑳	その他（運行記録計・速度表示装置等）	／

自動車検査証、登録識別情報等通知書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

✔ 自動車の種別	✔ 用途	✔自家用・事業用の別	✔ 車体の形状	✔ 車名	✔ 型式	✔ 乗車定員	✔ 最大積載量	その他
普通	特種	事業用	タンクセミトレーラ	フルハーフ	FPA230A改	（－）－人	（－）15300 kg	
✔ 車両重量	✔ 車両総重量	✔ 原動機の型式	✔ 長さ	✔ 幅	✔ 高さ	✔ 総排気量又は定格出力	✔ 燃料の種類	
6650 kg	（－）21950 kg	－	852 cm	249 cm	337 cm	－ kW ℓ	－	

依頼者の氏名等

受付年月日	平成28年5月20日
依頼者の氏名又は名称及び住所	株式会社 記録簿乳業 整備県整備市整備4丁目5-6
（備　考）✔	

（依頼者の依頼事項）

点検者の氏名	作業者の氏名	
検査員1	整備作業者1	整備作業者2

初度登録年月又は初度検査年月 ✔	平成2年8月
検査の年月日	平成28年5月20日
自動車検査員の氏名	自動車検査員1
保安基準適合証及び保安基準適合標章の番号	441
保安基準適合標章交付	有
限定保安基準適合証の番号	